

第27回ねりまシニアセミナー開催される

第27回ねりまシニアセミナーが、11月28日に1年半ぶりに、2回の延期を経て開催されました。ご承知の通り、コロナ禍緊急事態宣言発令中の開催を避けたためです。その間延期のお知らせは出ていましたが、11月の希望者は32名で当日の参加者は13名でした。

そのような中「歳を重ねるのは自由になることをテーマにした基調講演は、アンケート結果からも大変好評でした。一方で希望者の年代が、70代80代で7割近くを占め、体調不良を理由に欠席される方もおられました。

これからは従前と異なる環境状況の中、参加者のサポートと共に、今後のセミナー委員会のあり方について、しっかり取り組んでいきたいと思えます。ねりまシニアセミナー委員会 幹事会

相田 宗男



☆ミブリッジを楽しむ会(四水会)

(日時) 毎月第4水曜日 14:00~16:30

(場所) 男女共同参画センター エーる

(会費) 無料

(申込) ひとみ会 角地

☎(3904)8005

サマーフェスティバルお知らせ

月日: 8月28日(日) 午後

場所: 練馬区立区民・産業プラザ

コネリホールで開催予定です

セカンドライフ研究会2の4回目開催

10月22日(金)午後2時から、石神井公園区民交流センター集会室で「医療との向き合い方」のテーマのセカンドライフ研究会が行われ、事務局4人を含め22名(同期会結成数年後の会から15名)が参加しました。医師選びに関して、「かかりつけ医でけんかして今は3回目の医師。まずまず」、「セカンドオペ」オンを見つけたためには、けんかしてでもという気がないとできない、「薬はリスクと言われるが、医師を変えたら半分に減らしてくれた」

等。また「次回の認知症に関心を持っている」久しぶりのお喋りを楽しめたなど様々な体験談や感想がありました。

事務局 角地



【編集後記】

ねりまシニアセミナー委員会のみなさま、お疲れさま。参加者が意外に少なく残念でしたが、次のセミナーに期待しましょう。また、セカンドライフ研究会は皆さんの関心のあるテーマなので、益々盛況のようですね。これからの進め方に要注目。

(五)

【会員のひろば】

《紅葉参りて霊酒》

私達「いちい会」では、毎年の一泊旅行は紅葉狩りに行くところだが、今年はコロナ禍で出掛けられず、12月2〜3日にようやく出掛けることになった。友好同期会の「ひまわり」から2名と「いちい会」の8名で、加治橋バスターミナルから東北道をひた走る。5時間余は辛かった。

途中で2ヶ所休憩を取ったが、食事時間は取れず、喜多方ラーメンもお預けである。猫魔リゾート裏磐梯に着いたが、午後1時半から6時の夕食まで館内ブラブラ。お風呂に行った人もいたのかな。

夕食はバイキング、貧乏性は食べ過ぎになる。でも佐賀牛のステーキはつまかった。(カミさんが肉嫌いなので・・・)

夕食後の反省会、また薄桃色の話になるかと思いきや、NSNの存続が話題になり、参加者と危機感が共通認識になり、役員の任期を決めてしまっただけで良かった。

翌日早朝から温泉へ。ゆっくり温泉ビールが欲しい所だがガマン。さて出発までの予定は？。そこで野口英

世記念館へ行くことに。科学者(医者)

のイメージが強かったが、どうしてこうして非常に多才であった。絵画も素敵で、母のシカさんや自画像・静物画等、ほればれするほどであった。

当時医者はドイツ語はマスターしていたが、彼は英語もマスターしていたアメリカでの活躍に役立てた。記念館の近くに食堂があり覗いてみたら「喜多方ラーメン」が有ること、望んでいたものにありついた。

帰りの5時間余、青息吐息で東京へ。これだけ楽しんで会費2万円からお釣が出た。企画者の村松さんに感謝・感謝。

いちい会・匿名希望



雪の松原湖

《Re-i1から》

NSNに加入して約1年経ちましたが、コロナの「おかげ」で我が会として独自の活動は殆ど出来ていません。月に1度のセミナー委員会及び連絡会などに出席させて頂いて、その後反省会と称しての飲み会に参加して色々な話が出来るのが楽しみです。

人口70数万人の練馬区の中から、縁あってお知り合いになれたことが最大の事だと思えます。

齋藤 弘一

11月のセミナー、お疲れさまでした。皆さんの活発な動きに感心しました。新グループがうまくいくと良いですね。

私は高齢者ディサービスを経営しています。100歳の方が二人いらっしゃいます。体が丈夫で信念があります。

健康でいるのは難しい、先のことはわかりません。今、重度の母の介護で大変な毎日です。経験を生かし、愛情をもって頑張っています。

いつかバス旅行に参加し、皆さんと遊びたいです。

矢口 みゆき



サフリーマン生活を終えて早3年、辞める前には、日々好きなことをしたい・旅行にも行きたい・そして寝たい時に寝る等々、色々な想像をしていた。しかし現実には日々結構忙しい。シルバー人材の仕事・一人暮らしの母へのアシスト・子供たちや孫との交流・友とのお付き合い・ゴルフ・山登り・旅行・・・「幸せなんじゃない、やることがある」友人の一言である。でも新しいことが何もない。

「それで何を?」「ウーム、それが悩ましい!!」

千代田 一義